

清狂草堂（妙円寺境内）

清廉脱俗、詩酒三昧、放逸風狂など多彩な意味連想をもつ
中国伝来の文芸キーワード「清狂」——これを号に掲げて
文人交遊圏参入を果たした月性。この語が後に妙円寺内の
小庵の名に冠され、さらに彼の私塾・時習館の別称となる。



第3回は9月29日(日)午後、ゲスト講師に三谷 博さんをお招きします。

みに・ひろしさんは東京大学名誉教授、著書に『維新史再考—公議・王政から集権・脱身分化へ』(NHKブックス)など

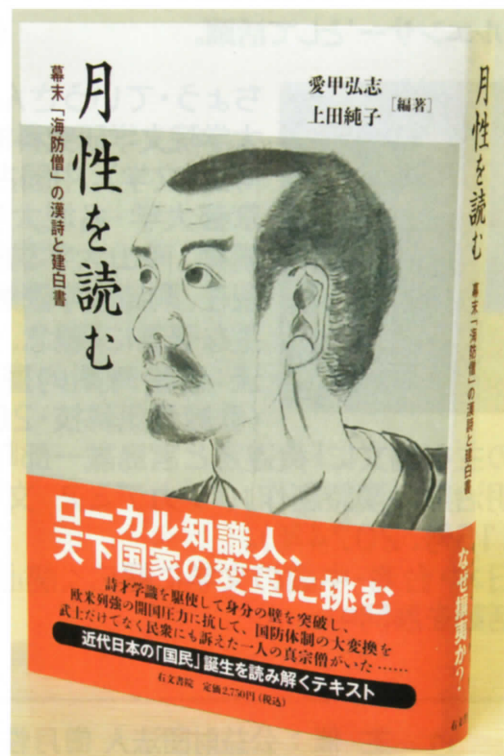
愛甲弘志・上田純子〔編著〕

月性を読む—幕末「海防僧」の漢詩と建白書

漢詩人にして、攘夷決戦を主張し、
真宗僧にして、地域民兵団の編成を促す。
方外矯激の知識人として、
詩酒清狂の文人交遊や、藩政改革派との交流を通じ、
儒学・兵学・尊皇史観・真宗教学等を論拠に、
舌鋒鋭く熱烈な言論、討論、提言活動を展開。
国内頹勢からの挽回を目ざし、
国外欧米列強のグローバルな専横に対抗すべく、
変革の諸課題を一身に具現した月性（1817-58）の、
情念と存念を一句一字まで読み解く一冊。

精選漢詩および全建白書の原漢文に、
書き下し文・現代語訳を対照して詳しい注を施す。
コラムや用語解説で、
幕末維新変革の歴史的背景を明らかにする。
中高生から読める「月性読本」

企画・制作 僧月性顕彰会
四六判・カバー装・344頁
定価2750円(税込) 右文書院刊



御礼 3月3日の『月性を読む』刊行記念行事の会場にて、カンパ箱を設けさせていただきましたところ、たくさんの御芳志を賜りました。誠に忝く、厚く御礼を申し上げます。 2024年3月4日 公益財団法人 僧月性顕彰会